

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●朝日杯フューチュリティSはサリオスが優勝

12月15日(日)に行われた朝日杯フューチュリティS(G I)ではサリオス(牡2歳/美浦・堀宣行厩舎)が勝利、G I初制覇を果たしました。勝ちタイム1分33秒0は、2017年にダノンプレミアムが記録した1分33秒3を更新するレースレコードとなります。

●3名の騎手がJRA通算100勝を達成

騎手3名が相次いでJRA通算100勝を達成しました。まず12月14日(土)の4回中京5日・第1レースではミツカネプリンスが1着となり、横山武史騎手(美浦・鈴木伸尋厩舎)が達成(1723戦目/現役94人目)。同日の5回阪神5日・第2レースではスマートウィザードが1着となり、坂井瑠星騎手(栗東・矢作芳人厩舎)が100勝に到達(1615戦目/現役95人目)。翌15日(日)の5回中山6日・第10レースとして行われた北総Sではゴルトマイスターが1着となり、武藤雅騎手(美浦・水野貴広厩舎)も通算100勝となりました(1850戦目/現役96人目)。

●小林凌大騎手がJRA初勝利をあげる

12月15日(日)の5回中山6日・第1レースではスピーニディローザが1着となり、同馬に騎乗した小林凌大騎手(美浦・小西一男厩舎)は、JRA初勝利(187戦目)をあげました。

●岩田康誠騎手が1600勝、幸英明騎手が1400勝を達成

12月14日(土)の5回阪神5日・第9レースとして行われたさざんか賞ではヴァーククラウンが1着となり、同馬に騎乗した岩田康誠騎手(栗東・フリー)は、史上13人目、現役では7人目となるJRA通算1600勝(1万3139戦目)を達成しました。翌15日(日)の5回阪神6日・第1レースではテンテキセンセキが1着となり、同馬に騎乗した幸英明騎手(栗東・フリー)は、史上20人目、現役では9人目となるJRA通算1400勝(2万13戦目)を達成しました。

●三浦皇成騎手がJRA年間100勝を達成

12月15日(日)の5回中山6日・第2レースではヴィクトワールボスが1着となり、三浦皇成騎手(美浦・鹿戸雄一厩舎)は、自身初、本年6人目となるJRA年間100勝を達成しました。

●松永昌博調教師が300勝、宮徹調教師が400勝を達成

12月15日(日)の4回中京6日・第5レースではメイショウダジンが1着となり、松永昌博調教師(栗東)は、現役63人目となるJRA通算300勝(延べ3547頭目)を達成しました。さらに第8レースではウインラナキラが1着となり、宮徹調教師(栗東)は、現役42人目となるJRA通算400勝(延べ5816頭目)を達成しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●全日本2歳優駿(川崎)は地元のヴァケーションが差し切り勝ち

全日本2歳優駿(Jpn I、12月18日、川崎、1600m)は、中団から追い上げた5番人気の川崎所属馬ヴァケーション(吉原寛人騎手=金沢、牡、父エスポワールシチー)が、逃げ粘るアイオライトをゴール寸前でアタマ差交わしました。1番人気のメイショウテンスイは4着、2番人気のテイエムサウスダンが5着、イロゴトシは8着、3番人気のキメラヴェリテは9着に敗れています。

●デルマルーヴルが名古屋グランプリ(名古屋)で2歳時以来の勝利

名古屋グランプリ(Jpn II、12月19日、名古屋、2500m)は、5番手から差を詰めたデルマルーヴル(岡部誠騎手=愛知、牡3歳、父パイロ)が、先に抜け出したアングライフェンをゴール前で差し切り、1番人気にのせて兵庫ジュニアグランプリ以来となる勝ち星を取っています。2番人気のアナザートゥルースが3着、逃げた3番人気のメイショウワザンが4着、アポロテネシーが5着に入り、JRA所属馬が上位を独占しました。

●ノボバカラらが参戦、12月27日の兵庫ゴールドT(園田)

兵庫ゴールドトロフィー(Jpn III、12月27日、園田、1400m)は、トップハンデの57kgでもこのメンバー構成ならノボバカラが中心、以下デュープロセス、テーオーエナジー、サクラレグナム(高知)の順に有力視され、ランスオブブラーナは初のダートが課題です。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1カルロスベジェグリーニ大賞〜ナオンダマイスが逃げ切る

南米を代表するレースで、南米の凱旋門賞とも言われるG1カルロスベジェグリーニ大賞(3歳上、芝2400m)が12月14日にアルゼンチンのサンイシドロ競馬場で行われ、ブラジルから遠征したナオンダマイス(牡3歳、父ティーエイチアブルーヴァル、F.バルボーサ厩舎)がC.ラポール騎手を背に逃げ切って3/4馬身差で優勝。前走11月9日のG1デルビーパウリスタ(ブラジル、芝2400m)に続くG1連勝として、4つ目のG1タイトルを手に入れました。

●カナダのユーリコ・ダシルヴァ騎手が引退

カナダの年度代表表彰にあたるソヴリン賞の最優秀騎手にこれまでに6度も選ばれたユーリコ・ダシルヴァ騎手が、今年のウッドバイン競馬場の最終開催日にあたる12月15日をもって現役を退きました。ダシルヴァ騎手は今年のウッドバイン競馬場でも最多となる182勝をマークしており、同競馬場における6度目のリーディングタイトルを手にしての引退となりました。ダシルヴァ騎手はブラジル出身の44歳。カナダのダービーに相当するクイーンズプレートは2009年・2010年に連覇。2017年には日本のワールドオールスタージョッキーズで総合優勝を果たしています。